

ドームバウンサー運用マニュアル



小田原市自治会総連合

(令和7年9月2日)

目次

はじめに	1
I 貸出備品類	2
II 設置手順	3
III 運用上の注意	8
IV 撤収手順	10
V 一般社団法人日本エア遊具安全普及協会が定める「安全運営の 10 カ条」	12
VI 風速基準のガイドライン	13
VII 強風によるエア遊具横転事故防止のために重要な 4 事項	14
VIII 補修テープの使い方	15
IX 風速計の使い方	16
X 点検リスト	17

はじめに

【重要事項】

- 平坦な場所に設置してください。
- 定員（１０名：２５０kg）を厳守してください。
- 強風・雨天時は必ず以下の条件を遵守してください。

【運営注意】瞬間風速 8 m／s を超えた場合	【運営中断】瞬間風速 10m／s を 超えた場合
いつでも運営を中止できるよう準備しながら運営。 気象条件の急激な変化に注意すること。気象条件の変化が認められたら、速やかに【運営中断】とすること。	エア遊具の <u>利用者を速やかに遊具外に退場させ、運営を中断する。</u> 中断が 10 分以上続くと想定される場合は、エア遊具の空気を抜いて保護する。

- 屋外屋内にかかわらず、使用中は必ずウェイト（砂袋）で本体を固定してください。
- 利用者の要望ではなく、使用責任者が休止・中止の判断をしてください。
- 送風機（ブロアー・ファン）から火花、煙、異臭、異音が出たり、触れられないくらい高温になった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 濡れた手では送風機（ブロアー・ファン）は絶対に触らないでください。
- カビ発生防止のため、雨天で使用的場合は、必ず乾燥させてください。
- 使用上の過失等で事故が発生した場合は、その使用者の責任とするため、イベント保険に加入してください。

I 貸出備品類



- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| ①ファン（送風機） | ②ブローア（送風機） | ③本体 |
| ④グランドシート | ⑤入口階段 | ⑥ウェイト6つ（砂袋） |



- | |
|-----------------------|
| ⑦注意書 1 |
| ⑧注意書 2 |
| ⑨補修テープ |
| ⑩風速計 |
| ⑪補修用ビニール |
| ⑫マジックテープ
カバー（空気孔用） |
| ⑬家庭用電源接続用
プラグ（2個） |



Ⅱ 設置手順

1. グランドシートを敷きます。

- ・ 設置場所の地面に突起や石などがないか確認してください。
- ・ 本体底の摩擦における破損予防、送風機の砂や埃の吸い込み予防が目的です。



○グランドシート（7 m×7 m）

2. 本体を広げます。

- ・本体に破損（破れや糸のほつれ）がないかチェックする。見つかった場合は、補修してから使用してください。



尻尾部分
あり

※「◎」が本体の中心です。



◎をグランドシート中央にしてください。



尻尾部分

※尻尾部分の反対側が顔正面です。

3. 本体に送風機（ブロアー及びファン）を接続し、バンドで固定します。

- それぞれ20Aの電源を用意してください。

※家庭用の15Aでも可能ですが、必ず別コンセントで電源を確保してください。

- 延長コードを使用する場合は、太いものを使用し、電力ダウンや発熱の防止のため、30m以内（延長ドラム1個）にとどめてください。
- できる限りコンセントのアースを使用し、感電防止に努めてください。

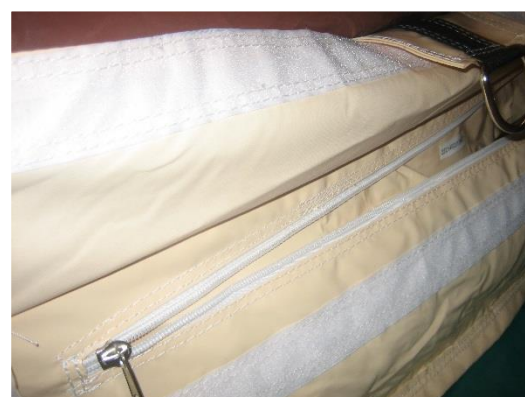


4. 送風開始

- 最初に、ブロアー（①）を動かして、ベース部分、頭部を膨らませてください。
※後頭部、ベース部分に空気圧を調整する孔があります。必要に応じてマジックテープカバーを使用して調整してください。
- 次に、ファン（②）を動かして、胴体を膨らませてください。
- 炎天下で使用する場合は、送風機（ファン・ブロアー）は直射日光から防ぐように日よけを使用してください。



※後頭部空気孔



※ベース部分空気孔

- 上部がパンパンになる状態を続けると、ベース部分が反って本体が転倒しやすくなるだけでなく、送風機（ファン）にも大きな負荷がかかるので、ちょうどいい頃合を見つけてください。それでも張り過ぎる場合は、後頭部空気孔を開けて、空気を逃がしてください。
- ベースマットが反る場合は、ベース部分空気孔を使用して空気圧を調整してください。

5. ウェイト（砂袋）の設置

- ・ベース部分6箇所にてウェイト（砂袋）を設置します。



6. 入口階段の設置

- ・入口階段を設置します。



○本体サイズ：幅6 m×奥行6 m×高さ7 m弱

7. その他

- ・入退場の際に、本体の空気が大きく抜けて柱が折れたりする場合は、1度止めて内部の空気を再度いっぱいにしてから入退場を再開してください。
- ・なんらかの理由（コンセントの抜け、送風機のはずれ、本体の破れ等）本体がしぼみだした場合は、お子さん達を座らせて落ち着かせて順番に一人ずつ安全に出していきます。ドームバウンサーは定員とウェイト（砂袋）止めさえ守れば、空気が抜け出しても安全に地面に足がつくようになっております。

Ⅲ 運用上の注意

1. 運用前の安全点検を必ず行いましょう。

- (1) 布地や縫い目に破損がないか。
- (2) 立ち上げ後、空気圧が適当か。
- (3) 本体の送風口が送風機から抜けないか。
- (4) 設置位置まで必要な電気圧・量が安定して来ているか。
- (5) 設置場所に傾斜がないか。
- (6) ウェイト等の固定具が的確に止めてあるか。

2. 適切な人数の運営スタッフを置き、監視を徹底しましょう。

- (1) 遊具内を監視するスタッフを配置してください。遊具内ではお子さんたちが元気に遊ぶため、予想外の行動やプレイ中の衝突は多々あります。
- (2) 常時1人以上の運営スタッフ（できれば2名以上）を配置してください。
- (3) 休憩時のスタッフ不在を防ぐためにも、交代人員を確保ください。
- (4) 危険な行動を取るお子さんには、その都度迅速に注意を促してください。
- (5) 遊具内だけでなく周辺（特に送風機）で遊ぶお子さんには注意を促してください。

3. 遊具内での注意事項や禁止事項をわかりやすく告知・掲示をしましょう。

【衣服類】

- (1) 必ず靴は脱いでください。
- (2) メガネ、ヘアピン、時計、指輪、アクセサリなど装飾品はすべて外してください。（コンタクトレンズは落とす危険性があります。）

【持込物】

- (1) 遊具内は飲食やおもちゃの持ち込みを禁止してください。
- (2) 口に入れたあめやガムなどは出してから、ご利用ください。
- (3) ポケットの中身は空にし、手荷物は保護者に預けてください。

【遊ばせ方】

- (1) プレイ定員（10名）を徹底し、それ以上の人員は遊具内に入れないでください。
- (2) できる限り体格差があるお子さん同士と一緒に遊ばせないでください。
- (3) お子さん同士の鬼ごっこは禁止させてください。
- (4) 食後すぐは嘔吐しやすいので時間を空けてから遊ぶよう案内してください。
- (5) 壁に向かってぶつかったり、集団で壁にもたれかからないように案内してください。

4. 混雑時はプレイ時間の制限と、待機場所の確保をしましょう。

- (1) カラーコーンやロープなどで並ぶ列を用意してください。
 - (2) 混雑時はプレイ時間を制限しての完全入れ替え制にしてください。
 - (3) 相当の混雑が予想される場合は、引換券などを準備してください。
- ※入れ替え時間の目安は3分～5分程度が一般的です。

5. 悪天候時の対応・対策を理解し徹底してください

- (1) 瞬間風速 8m/s 超：運営注意
 - (2) 瞬間風速 10m/s 超：運営中断
 - (3) その他警報が発令されるなどの場合：運営中断
- ※詳細は1ページ及び13ページを参照してください。

6. その他

- (1) 配線は人に引っかからないようにガムテープや配線カバーなどで地面に固定するか、配線周りを立ち入り禁止にしてください。
- (2) 送風機側にはお子さん達が近寄らないようにしてください。できればロープやカラーコーンなどで仕切りを作ってください。

IV 撤収手順

【本体】

1. 入口階段、ウェイト（砂袋）を撤去した後、送風機の電源を切り、通風口を外した後、しばめます。



※空気を抜く際は、靴を脱いでください。

2. たたんだ後、元の状態に巻いて、袋に収納します。



※5等分にたたんでください。



【グランドシート】

1. 折りたたんだ後、元の状態に巻いて、収納します。



V 一般社団法人日本エア遊具安全普及協会が定める「安全運営の 10 カ条」
(改訂 ver5.2025.04)

- 1 エア遊具の使用運営・設置固定にあたっては、エア遊具メーカーの仕様書・取扱説明書に準拠して運営しましょう。また、エア遊具メーカーはエア遊具毎に仕様書・取扱説明書を整備し、エア遊具運営事業者に提供しなければなりません。
- 2 エア遊具運営事業者は、エア遊具の規模・形状・設置数、運営条件、エア遊具メーカーの取扱説明書等を十分考慮し、利用者の状況把握・安全管理に必要な取り扱いについての知識・技能の習得に努めましょう。
尚、イベントで使用する場合、または、屋外設置の場合は、最低下記人数の運営スタッフをつけましょう。
 - ・遊具 1 体につき最低 1 人
 - ・ただし、造形部を含む高さ 4.5m 以上の滑り台型遊具については、1 体につき最低 2 人
- 3 運営スタッフは、入退場のゲストコントロール、運営中の内部監視、エア遊具周辺の外部監視が行われるように適切に配置しましょう。
- 4 利用制限（身長・体重制限または年齢制限など）をよく理解し、徹底しましょう。
また、遊具毎のプレイ時間を設定する場合は、時間管理を徹底しましょう。
- 5 エア遊具ごとの定員を確認、定員管理を徹底しましょう。
- 6 入場前の子どもたちに、エア遊具の遊び方、禁止行為などしっかり説明しましょう。
- 7 始業前点検リストに沿って、ひとつひとつの点検項目をしっかりと確認、安全な遊具環境を用意しましょう。
- 8 ダクト抜け、送風機の吸気口のゴミ詰まりなど、空気の供給ラインに異常がないか、運営中は常に注意を払いましょう。

- 9 停電、電源ブレーカー遮断、コンセント抜けなど、電源の供給ラインに異常がないか、運営中は常に注意を払いましょう。
- 10 エア遊具は屋外屋内にかかわらず使用中は固定する必要があります。
エア遊具メーカーは、想定されるまたは適当と考える風荷重条件あるいは風速条件の計算を考慮し、固定に必要な固定具の種類、設置ポイント、設置数、強度、設置方法、使用にあたっての最大瞬間風速条件などを取扱説明書に明示しなければなりません。
エア遊具運営事業者は、屋外設置の場合は、風速計を必ず取り付け風速状況を把握する必要があります。また、エア遊具メーカー推奨の風速基準を上回る風速条件で運営してはなりません。
しかしながら、いかなるエア遊具でも下記協会策定の「運営中断」風速条件を超えて運営してはなりません。
当協会が定める風速基準のガイドラインは、下記となっています。

VI 風速基準のガイドライン

「運営注意」：瞬間風速 8m/s を超えた場合

いつでも運営を中止できるように準備しながら運営。気象情報のリアルタイムでの入手に努め、現場の気象条件の急激な変化（黒い雲の発生、気温の低下、雷鳴など）に注意する。

「運営注意」の状態、黒い雲の発生、気温の低下、雷鳴などの気象条件の変化が認められたら、速やかに下記の「運営中断」の処置をとる。

「運営中断」：瞬間風速 10m/s を超えた場合

エア遊具の利用者を速やかに遊具外に退場させ運営を中断する。

中断が 10 分以上続くと想定される場合は、エア遊具は空気を抜いて保護する。

「運営再開」：下記の条件を総合的に判断して決定

- 1) 連続した 10 分間で、10m/s を超える瞬間風速が観測されないこと。
- 2) 当該地域に強風、雷などの注意報、又は竜巻注意情報が発令されていないこと。また、今後も発令の可能性が極めて低い状況であること。
- 3) 当該現場にて、急激な気象の変化（黒い雲の接近、急激な気温低下、雷鳴など）が確認されないこと、あるいはそれらの状態が解消されたこと。

VII 強風によるエア遊具横転事故防止のために重要な4事項

(1) メーカー所定のウェイト・くいを必ず使うこと

現場担当者がウェイト・くいについて、適切な箇所に適切な方法で設置するためには、ウェイト・くいの設置マニュアル（※）を個別遊具ごとに整備し、担当者に教育・研修することが重要である。このため、運営事業者がメーカー（製造事業者又は輸入事業者）からエア遊具を購入又はレンタルする場合は、当該マニュアルの整備されたエア遊具を選定することが重要である。

（※）P7 ウェイト（砂袋）の設置を参照

(2) 強風注意報等が発令されていないことを確認すること

気象庁の強風注意報及び暴風警報は、風による災害が発生するおそれがある際に発令されるものである。このため、発令直後に風速が比較的穏やかであっても、短期間のうちに突風が発生する可能性がある。このため、確実に強風注意報等の発令状況を把握することが重要である。

(3) 風速計を必ず取り付け、風速基準に沿った運営をすること

強風注意報等が発令されていない場合であっても、局所的に風速が強くなる可能性等がある。このため、体感ではなく、正確に風速を把握するために、風速計を必ず取り付けることが重要である。また、「安全運営の10ヶ条」の基準（瞬間風速8 m/s 超で運営注意、瞬間風速10 m/s 超で運営中断）等を踏まえつつ、各遊具の特性に沿って風速基準を定め、風速基準に沿った運営をすることが重要である。

(4) 点検リストに沿って確認すること

以上の（1）から（3）までの対策の実施について、現場担当者個人の判断に委ねるのではなく、点検リストに沿って組織的に確認する体制を整備することが重要である。

VIII 補修テープの使い方

TEAR AID

エア―遊具を始めいろいろなものの修理に役立つパッチです。

TYPE-B

PVC(エア―遊具)、TPU (水上遊具) やビニール専用です。

24時間で完全接着(ドライヤーやアイロンを使って早く乾かせます)

- 貼った直後 50%、24 時間後に 100%の強度に達します。

使用方法是接着面の水分や油分をふきとってシールを貼るだけ穴を防いだり破れ目を繋ぎ合わせます。

- ① 補修箇所を化粧箱に入っていますアルコールパッドできれいに汚れをおとします。
- ② 十分に乾かします。
- ③ 貼りしろに余裕を持ってはさみで切ります。 (角を丸めるほうがよりめくれにくくなります)
- ④ 空気が残らないように貼ります。
- ⑤ 強くこすって貼り合わせます。

Instant Repair



大変丈夫で鉛筆などでも穴が開きません。一度張れば非常に強い強度で接着します。

縫製キットで縫い合わせたり、両面貼り付けでさらに効果を高めたりできます。

★エア―遊具安全普及協会からの報告例でも破損した状態で使い続けたのちにケガに繋がっていますので商品の補修、メンテナンスはこまめに実施してください。

デジタル風速計 取扱説明書

この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保管してください。

安全上のご注意

- 濡れた手で触らないでください。感電の恐れがあります。
- 直射日光を避け、熱に近づけないでください。
- 分解したり、修理・改造を行わないでください。火災や感電、火傷の原因になります。
- 本製品は防水仕様ではありません。
- 本製品は風速を知る目安にするもので、その結果を保証するものではありません。
- 本製品は精密機械です。落下、衝撃などを避け、また電磁波に近づけないでください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出し、湿気を避け子供の手の届かない場所に保管してください。

使用方法

【電源を入れる】

- MODEボタンを約1秒間以上押し続けると電源が入ります。

【電源を切る】

- MODEボタンとSETボタンを同時に押すと電源が切れます。

【測定単位、測定表示を設定する】

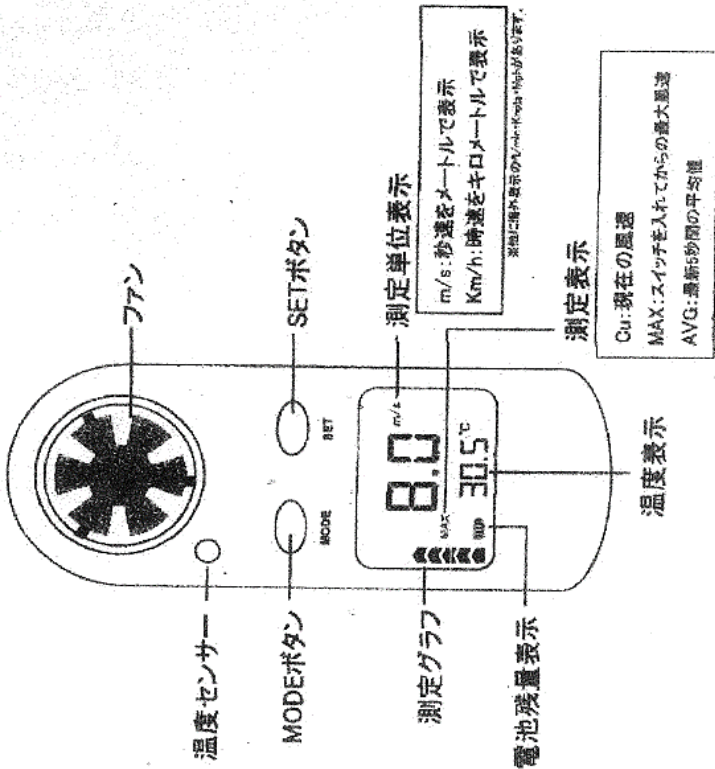
- MODEボタンを約3秒間以上押し続けると設定モードになります。
- MODEボタンを押して、変更したい項目に移動します。
- 変更したい項目を選択している状態で、MODEボタンを押すと設定できます。

※本製品は風速を知る目安にするもので、その結果を保証するものではありません。

製品仕様

測定単位	m/s*km/h
測定範囲	m/s: 0~30 km/h: 0~90
測定範囲 (温度)	-10°C~+45°C
精度	±0.5%
表示設定	Cu: 現在の風速、MAX: 最大値表示、AVG: 平均値表示
サイズ	(約) H102×W39×D18mm
重量	(約) 52 g
電源	コイン型リチウム電池CR2032×1 ※テスト用付属

各部名称



X 点検リスト（返却時にご提出願います）

使 用 日 年 月 日

使用者名

（団体）

（名前）

1. 運用前

		項 目	チェック
本 体	1	本体の破れ、ほつれはなく、遊具は正常に膨らむか	
	2	遊具内は清潔か	
送 風 機	3	送風機と遊具の接続は完全か	
	4	送風機は正常に運転するか	
	5	電源コードは抜けないようになっているか	
	6	電源コードの延長は 30m以下となっているか	
	7	コンセント部の接続にゆるみはないか	
	8	人が電源コードにつまづかないようにしてあるか	
	9	柵の設置に問題はないか（送風機周り）	
設 置	10	周囲の建物や植栽等との距離は十分か（最低 2 m）	
	11	係留ロープを使用している場合、ゆるみはないか	
	12	出入りロステップ（階段等）の固定は万全か	
	13	待ち動線に問題はないか	
天 候	14	屋外の場合、天候は大丈夫か（注意報や警報）	
	15	屋外の場合、風速は基準以内か	

2. 運用中

		項 目	チェック
本 体	1	遊具は正常に膨らむか	
	2	遊具内は清潔か	
送 風 機	3	送風機と遊具はしっかり繋がっているか	
	4	送風機に異常はないか（煙、熱、異臭）	
設 置	5	配線や送風機周辺に誰も立ち寄っていないか	
	6	ウェイト（砂袋）が緩んだり外れたりしていないか	
天 候	7	屋外の場合、風速は基準以内か	
	8	屋外の場合、風速は基準以内か	

3. 運用後

		項 目	チェック
本 体	1	遊具に破損はないか	
	2	遊具内は清潔か	
	3	遊具は濡れていないか	
送 風 機	4	送風機に異常はなかったか（煙、熱、異臭）	
そ の 他	5	貸し出した備品類がそろっているか。 ①ファン（送風機） ②ブロアー（送風機） ③本体 ④グランドシート ⑤入口階段 ⑥ウェイト6つ（砂袋） ⑦注意書1 ⑧注意書2 ⑨補修テープ ⑩風速計 ⑪補修用ビニール ⑫マジックテープカバー（空気孔用） ⑬家庭用電源接続用プラグ（2個）	